(1)	打行政評価:			争務	事業調	十川川	シート(ヹ	平成	26年	度実統	漬分)				
(1) 事務事業の名称・位置づけ〔Plan1〕							白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)									
事務事業コード事務事業名						担当課		担当係名	属長(課	長等)名	等)名 担当係長名					
23421 公費給付事業(福						1	住民税務課		国保医療係		赤羽	博		赤羽幸	恵	
			祉医	猾制 皮亚	[天]	-;	次評価年月日 平成 27 年 6 月 4 日 連絡先〔			絡先〔内]線)	2103				
			会計区分				予算コード		事業名(歳出予算見積書)							
事 終	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)		□ 一般 □ 特別 □ 一般 □ 特別		口特	持別	0340	公費	給付事務							
事務事業実施					持別		#N/A									
			章(コード選択		建択)	2章	支え合いとやすらぎのまちづくり									
の根拠	第五次総合計画前期基本計画の			節(コード選		建択)	3節	3節 健やかな暮らしを守る社会保障の充実								
	施策体系における位置づけ		項〔基本施策〕 (コー		(コード選	建択)	4項 福祉医療制度の充実									
位置づ			目〔主な施策〕		(コード選択)		2目	福祉	福祉医療制度の拡大							
づけ	関連する計画等への位置づけ			☑ 第五次行則		上綱	コ 3ヶ年実施	施計画	主要	業務報告		その他				
	事務期間		(開	<mark>始)</mark> S48	年度	~	(終了予定)		年度		開始時期	用不明	✓	終期設	定なし	
(2)	事務事	業の内容(目的と手	段を	把握しま	ます。)〔	Plar	12]									
17	対象(誰のた	めに)・・・・・この事務事業はと	ごんなノ	人(誰•何)を	対象に行って	ています	たか。									
辰野 (町在住の住」	-														
汉主广	·) 1															
2E	的(意図)(どんな状態にしたいか)・・・・・	·この事	業を実施す	ることにより	リ、対象を	をどういう状態に	したいの	のですか。							
노니트	い生活のた	·めに福祉医療の受給者の拡大	-101	\て告に投言	けた行い安宝	□ 1-/上	汗が山本ストン	ーナス								
ひりひ	(U· <u></u>	- のバー (田)正区7京の人が10日の7月47		, , C 山 (大口	אאייון ביווי את		石が田木のみ 八	- 9 W								
33	段(事業内	容) (どうやって) · · · · · 上記①	の対象	えに対して、	どのような手	段で②	の目的(意図)を	達成す	るか、実施し	た行政活動	(対象に	対する働	きかけ	を記入しまで	す。	
1	福祉医療の	該当者の拡大について検討を	·行う													
2																
3																
4																
(0)																
(J)	活動排	≦標の設定と推移・・・	((2)の③	サービス	くの概	·要(手段)0	り指札	票を表しる	ます。〔	Do1					
(3)	活動排	≦標の設定と推移・・・	((2)の③	サービス	くの概	程要(手段) 0			ます。〔 _{責値}		計画値		最終目	標年度	
(3)	活動排			(2)の③	サービス	くの概					Do 1 27年 (見込	計画値	域率	<mark>最終目</mark> 27	標年度 年度 (見込み)	
1	活動打		分	(2)の③	サービス	くの概	単 位	立	実 25年度 632	<mark>責値</mark> 26年度 645	27年 (見込	計画値	<mark>近率</mark> 0.96		年度	
		区	分 分)		サービス	くの概	単 位	立	実統 25年度	<mark>責値</mark> 26年度 645	27年 (見込	計画値 度 達み)			年度 (見込み)	
1	指標名	区 福祉医療該当者(障がい者区	分 分)		サービス	くの概	単 位 人 算出方法・計算 値設定の考	立 章式・目標 え方等	実 25年度 632	<mark>責値</mark> 26年度 645	27年 (見込	計画値 度 達み)			年度 (見込み)	
1 2	指標名 説明	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当す	分 分) トる人数	数			単 位 人 算出方法・計算 値設定の考 質出方法・計算 値設定の考	立 ゴ: 式: 目標 え方 手 ボ: 手 ボ・ に に に に に に に に に に に に に	実統 25年度 632 障がい者の	<mark>責値</mark> 26年度 645 該当人数	27年(見込	計画値 度 達み)			年度 (見込み) 670	
1	指標名 説明	区 福祉医療該当者(障がい者区	分 分) トる人数	数			単 位 人 算出方法・計算 値設定の考 質出方法・計算 値設定の考	立 ゴボ・目標 え方 ボ・目標 え方 ボ・目標 え方 ボ・目標	実統 25年度 632 障がい者の	<mark>責値</mark> 26年度 645 該当人数	27年(見込	計画値 度 達み)			年度 (見込み) 670	
1)	指標名 説明	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当す	分 分) トる人数	数			単 位 人 算出方法・計算 値設定の考 質出方法・計算 値設定の考	立 ゴ・目標 え方 目標 え方 また。目標 えた。	実統 25年度 632 障がい者の で表しま で	<mark>責値</mark> 26年度 645 該当人数 す。【D 責値	27年 (見込 02]	計画値 度 670 計画値	0.96	27 最終目	年度 (見込み) 670 0 標年度	
1)	指標名 説明 お	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当する) 「標の設定と推移・・・	分 分) トる人数	数			単 位 人 第出方法・計算 値設定の考 の達成度を打	立 ゴ・目標 え方 目標 え方 また。目標 えた。	実統 25年度 632 障がい者の	<mark>責値</mark> 26年度 645 該当人数	27年(見込	計画値 度 670 計画値 度 達		27	年度 (見込み) 670 0	
1)	指標名 説明	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当する に標の設定と推移・・・ 区 でがい者の所得制限の検討	分 分) トる人数	数			単 位 人 第出方法・計算値設定の考 の達成度を打 単 位	立式方を目標を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	実施 25年度 632 障がい者の で表しま 25年度 16	to 26年度 645 該当人数 「D to 16 を 16	27年 (見込 02]	計画値 度 670 計画値 度 達	0.96	27 最終目	年度 (見込み) 670 の 標年度 年度	
① ② (4)	指標名 説明 お	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当する に標の設定と推移・・・ 区	分 分) トる人数	数			単 位 人 算出方法・計算 値設定の考 の達成度を打	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しまで 実施 25年度 16	to 26年度 645 該当人数 「D to 16 を 16	27年 (見込 02]	計画値 度 670 計画値 決) 達 み)	0.96	最終目	年度 (見込み) 670 の 標年度 (見込み)	
① ② (4)	指標名 説明	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当する に標の設定と推移・・・ 区 でがい者の所得制限の検討	分 分) トる人数	数			単 位 人 算出方法・計算値設定の考 が	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しま 25年度 16	to 26年度 645 該当人数 「D to 16 を 16	27年 (見込 02]	計画値 度 670 計画値 決) 達 み)	0.96	最終目	年度 (見込み) 670 の 標年度 (見込み)	
① ② (4)	指標名 説標名 説標名 成果 指標名 説明	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当する に標の設定と推移・・・ 区 でがい者の所得制限の検討	分 分) トる人数	数			単 位 人 第出方法・計算値設定の考 の達成度を打 単 位 ・計算の表 のはます。 ・計算の表 のはます。 ・計算の表 ・・計算の表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しま 25年度 16	to 26年度 645 該当人数 た。【D to 26年度 16	27年 (見込 02]	計画値 度 670 計画値 決) 達 み)	0.96	最終目	年度 (見込み) 670 で 標年度 (見込み) 16	
① ② (4)	指標名 説標名 成果 指 説 標名 指標 明 名 指標 3	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当する に標の設定と推移・・・ 区 でがい者の所得制限の検討	分 分) トる人数	数			単 位 人 算出方法・計算値設定の考 単 人 算出方法・の考 単 人 算出方法のの考 単 人 算出方法・計算値設定の考 単 人 算出方法・計算値設定の考 は 計算値設定の考 は 計算	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しま 25年度 16	to 26年度 645 該当人数 た。【D to 26年度 16	27年 (見込 02]	計画値 度 670 計画値 決) 達 み)	0.96	最終目	年度 (見込み) 670 で 標年度 (見込み) 16	
① ② (4) ① ②	指標名 指 説 標 明 名 指 説 標 明 名 指 説 標 明 名 明 名 明 名 明 名	区 福祉医療該当者(障がい者区 障がい者の福祉医療に該当する に標の設定と推移・・・ 区 でがい者の所得制限の検討	分 分) トる人 ^数	文 (2)の②	目標(意	図)の	単 位 人 算出方法・計算値設定の考 単 人 算出方法・の考 単 人 算出方法のの考 単 人 算出方法・計算値設定の考 単 人 算出方法・計算値設定の考 は 計算値設定の考 は 計算	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しまで 25年度 16 所得超過に	to 26年度 645 該当人数 た。【D to 26年度 16	27年 (見込 の 2] 数 数	計画値 度みの 670 計画値 で 2 字	0.96 i成率 1.00	表終目 27 な分計算によ	年度 (見込み) 670 位標年度 (見込み) 16 る算定	
① ② (4) ① ②	指標名 指 説 標 明 名 指 説 標 明 名 指 説 標 明 名 明 名 明 名 明 名	国祖医療該当者(障がい者区障がい者の福祉医療に該当する) は では では では できます (では では では できます) では できます (では では できます) では できます (では できます) では (では では できます) では (では では では では できます) では (では では では では では では (では では では では では では (では では では では (では では では では (では では では では では では (では では では では では (では では では では では では では (では では では では では では では (では	分 分) トる人 ^数	文 (2)の②	目標(意	図)の	単 位 人 第 位 会 が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しまで 25年度 16 所得超過に	直値 26年度 645 該当人数 す。【D 責値 26年度 16 よる停止者	27年 (見込 27章 (見込 数	計画値 度みの 670 計画値 で 2 字	0.96 f f 1.00	最終目 27	年度 (見込み) 670 位 標年度 (見込み) 16	
① (4) ① (5)	指標名 指 説 標 明 名 指 説 標 明 名 指 説 標 明 名 明 名 明 名 明 名	福祉医療該当者(障がい者区障がい者の福祉医療に該当する)	分 分) トる人 ^数	文 (2)の②	目標(意	図)の	単 位 人 第 位 会 が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しまで 25年度 16 所得超過に	直値 26年度 645 該当人数 す。【D 責値 26年度 16 よる停止者	27年 (見込 の 2] 数 数 ^{平成24}	計画値 度分 存 670 画値 事値 達 子度 平度	0.96 f f 1.00	27 最終目 27 平成26年度 決 算	年度 (見込み) 670 位標年度 (見込み) 16 る算定 平成27年度 平成27年度	
① (4) ① (5)	指規模的人物。在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人物,在一個人的人的人物,在一個人的人的人物,在一個人的人的人物,在一個人的人的人物,在一個人的人的人	福祉医療該当者(障がい者区障がい者の福祉医療に該当者) は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	分 分) トる人 ^数	文 (2)の②	目標(意	図)の	単 位 人 第 位 会 が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しまで 25年度 16 所得超過に	す。 CD 責値 26年度 16 よる停止者	27年 (見込 の 2] 数 数 ^{平成24}	計画値 度か 670 計度か 16 事値 達 マクラー では、 マクラー では、 では、 では	0.96 1.00 1.25年度 算	表 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 の る の る	年度 (見込み) 670 位標年度 (見込み) 16 る算定 平成27年度 703	
① (4) ① (5)	指説成指説は指説は、おきずり、おります。	福祉医療該当者(障がい者区障がい者の福祉医療に該当者) は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	分 分) トる人数 ・・・(分	数 (2)の② 3〕	目標(意	※事業費	単 位 人 第 付	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しまで 25年度 16 所得超過に	責値26年度645該当人数責値26年度16よる停止者算書等に言(千円)	27年 (見込 の 2] 数 数 ^{平成24}	計画値 度か 670 計度か 16 事値 達 マクラー では、 マクラー では、 では、 では	0.96 1.00 1.25年度 528	表 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 の る の る	年度 (見込み) 670 (見込み) (見なみ) (見なみ) (見なみ) (のなり) (ox) (ox	
① (4) ① (5)	指説成指説は指説は、おきずり、おります。	福祉医療該当者(障がい者区障がい者の福祉医療に該当する)	分 分) トる人数 ・・・(分	数 (2)の② 3〕	目標(意	※事業費	単 位 人 第 付	立	実施 25年度 632 障がい者の で表しまで 25年度 16 所得超過に	責値26年度645該当人数責値26年度16よる停止者算書等に言(千円)	27年 (見込 の 2] 数 数 ^{平成24}	計画値 度か 670 計度か 16 字度 938	0.96 i成率 1.00 1.25年度 528 56.3	表 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 の る の る	年度 (見込み) 670 位 標年度 (見込み) 16 る算定 平成27年度 70: 104.	

25.3

72.9

445

0

年間人件費 年間人件費 年間人件費 年間人件費

%

%

(千円)

延べ人数

0.05

0.05

0.00

0.02 0.06

0.00 0.00 0.00

277.1

442

99.3

442

114.8

439

99.3

439

対前年比

②人件費の概算

対前年比

町職員(正規職員)

臨時職員

課長

0.02 0.02

課長補佐

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。 (人件費計算式シート)

係 長

H25 | H26 | H27 | H25 | H26 | H27

0.02 0.00 0.02 0.02 0.02 0.00 0.00 0.02 0.02

一般職員

0.00 0.00

(6) 項目別評価〔Check〕 視点 項目別評価 判定 評価結果 1. 事業に対する町民 A 増加傾向にある 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください B 変化していない Α のニーズに変化はあり ますか C 減少傾向にある D かなり減少している 窓口や電話 2. 国・県・民間との役 A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 割分担から、町が事業 Α を実施する必要があり C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 必要性がない ますか A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合、その具体的な内容をお書きください 3. 対象(受益者)の設 В 定は妥当ですか 障がい者の所得制限の廃止 B 対象の変更の余地がある A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合、その具体的な内容をお書きください 4.目的(意図)の設定 Α は妥当ですか B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある ── C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 期待したとおりの成果があった |5. 期待された成果は B 概ね期待したとおりの成果があった 得られましたか В (成果指標の目標値へ C 期待したほどの成果が得られなかった の達成度) D 成果が少なく今後も向上する見込みがない A すでに実施している A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください |6. 連携可能な事務事 業はありますか B 今後は可能性がある (町以外の取り組みも 含めて) C 今後も可能性はない 効 率 C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 余地なし 7. 成果を下げずにコス B 当面は余地なし |ト(事業費・人件費)を 削減できますか C 一部余地あり D かなり余地あり C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし 8. 受益者負担は適切 В ですか C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり ★ A·Bの場合、その具体的な内容をお書きください。 A すでに実施している B 可能 そ 9. 民間企業・住民団 体との協働の可能性は ありますか C 困難 D 検討中 (7)改革改善〔Action〕 今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) 口を一つチェックしてください。 ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する □ ウ. 終期設定 □ エ. 廃止 □ オ. 休止 〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください) (ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください) a 重点化する(コストを集中的に投入する等) 時期(年度) b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える) c 効率化を図る(コストを下げる) d 縮小する(簡素化する) e その他(別事務事業に統合する等) 事業の方向性の具体化 改革改善案(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等を記入します。) 27年度予算見積書への反映 口 あり 図 なし 〔反映内容〕 障がい者の所得制限について廃止するか検討を行う(障がい児についてはH27.4.1より廃止) (8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について) (評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。) 上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック ☑ A. 貢献度 大 □ D. 上位施策なし

乳幼児等については、18歳まで対象となっており、手厚くなっている。障がい者については、近隣市 □ B. 貢献度 中 町村との格差が大きくならないように、実情等も踏まえて、拡大が今後の検討課題である。 C. 貢献度 小 (今後の方向性 口を一つチェックしてください。) イ. 見直しのうえで継続する □ ウ. 終期設定 □ 才. 休止 工. 廃止 □ ア. 現状維持 🛛